

NPOマネジメント共育ネットワーク
第12回経営寺子屋
「三菱の歴史」

講師：平井岳哉氏
獨協大学教授



創発倶楽部PLATFORM南青山とマネジメント共育ネットワークが共催する第12回経営寺子屋は3月22日、獨協大学の平井岳哉教授をお招きして「三菱の歴史」をテーマにご講演をいただきました。

講演ではまず、かつて岩崎一族が所有し、現存する邸宅や庭園、財宝などが写真で紹介され、その後、創業者・弥太郎から現在に至る、三菱グループの歴史が丁寧に説明されました。そこからは、各時代の国家の要請に応じた戦略と、それを着実に実行するための組織形態、人材育成の見事なマッチングにより、我が国最大の企業集団が築かれてきた経緯が見事に浮き彫りになりました。また最後に、現在の三菱グループの強みと課題が提示され、休憩に入りました。

続く質疑応答の時間では、ミドルを中心とした参加者から、かつての多角化の経緯や、最近のグループ再編の評価、各事業の今後の可能性など、さまざまな質問が出ましたが、三菱グループ企業に一時在籍されたこともある先生からは、それに対し一つひとつに分かりやすい回答がなされました。

最後に司会が、明治維新以降、日本の近代化を強力に支えてきた三菱が、近代工業化社会に見事に適応する一方で、次の「知識社会」には上手く対応できていない現状は、我が国全体の課題でもあることを指摘し、全体を締め括りました。

以上

